

会 議 の 要 旨 (議 事 録)

会 議 の 名 称	第 1 回 鳥 栖 市 ま ち ・ ひ と ・ し ご と 創 生 有 識 者 会 議		
開 催 日 時	令和 7 年 2 月 2 7 日 (木) 1 4 : 0 0 ~	開 催 場 所	鳥 栖 市 役 所 2 階 第 1 会 議 室
出 席 者 数	委員 8 人 事務局 7 人 (総合政策課、情報政策課)	傍 聴 人 数	0 人
議 題	1. 次期地方版総合戦略の策定について 2. 地方創生臨時交付金及びデジタル田園都市国家構想交付金 (デジタル実装タイプ) 活用状況について 3. 第 2 期 “鳥栖発” 創生総合戦略令和 5 年(2023 年)改訂版の進捗状況について 議題外：鳥栖市における直近の人口動態について		
配 布 資 料	【資料 1】次期地方版総合戦略の策定について 【資料 2】地方創生臨時交付金及びデジタル田園都市国家構想交付金の (デジタル実装タイプ) 活用状況について 【資料 3】第 2 期 “鳥栖発” 創生総合戦略令和 5 年(2023 年)改訂版の進捗 状況について 【資料 4】鳥栖市における直近の人口動態について		
所 管 課	(課名) 総合政策課 (電話番号) 8 5 - 3 5 1 1		

第1回鳥栖市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事録

開会

事務局(総合政策課長)

議題1 次期地方版総合戦略の策定について

事務局 -資料に沿って説明-

委員 第7次鳥栖市総合計画(以下、総合計画)の指標とは、第2期“鳥栖発”創生総合戦略(以下、総合戦略)よりも幅広いものとの認識している。今回、総合戦略と合致する部分の指標はどのようなものになるのか。

事務局 総合計画は市の全事業を包括している。次期総合戦略は、その中で主に人口・雇用に関する分野を抜粋したものになる。

議題2 地方創生臨時交付金及びデジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)の活用状況について

議題3 第2期“鳥栖発”創生総合戦略令和5年(2023年)改訂版の進捗状況について

議題4 鳥栖市における直近の人口動態について

事務局 -資料に沿って説明-

委員 議題3の観光イベント集客数の根拠は何か。鳥栖プレミアム・アウトレットやフレスポ鳥栖にたくさんの方が来ていることを踏まえると、実感より数字が少ない印象。

事務局 佐賀県の観光客動態統計調査による。統計上、2年前の数値となるため、コロナ禍の影響がまだ残る数値となっている。
なお、主に鳥栖プレミアム・アウトレットやサガン鳥栖のホームゲームにおける、アウェーサポーター来場者が含まれている。鳥栖プレミアム・アウトレットがコロナ禍以前で年500万人の来場者がいると言われているため、妥当な数字かと思う。

委員 コロナ禍でありながらも、この程度で済んだという印象。令和5年から稼働したサロンパスアリーナもかなり誘客ができているため、来年の数字に期待したい。

事務局 補足として、来年度は全国大会開催補助金を実施できるよう進めているとともに、都市広場も従来より安く利用できるようにするなど、イベントや大会が実施しやすくなる。今後はより、市内への集客が見込めるのではないかと思います。

委員 都市広場の利用料は高いと感じていたもので、その施策は歓迎する。なお、イベント実施時は駐車場の問題が発生するため、そちらにも手立てをお願いしたい。

事務局 基本的には駅利用を促進したいが、市が管理する駐車場について、サガン鳥栖のホームゲーム時にしか使用していない状況。こちらも柔軟に利用できるようにしてあげたら。

委員 議題3について、特に基本目標の2については全体的に遅れが見られる。最後の1年をどのように頑張っていくのか教えていただきたい。

事務局 出生数を直接的に増やす施策は、地方自治体単体では難しいと考えており、子育て

	て支援に注力していきたい。給食費の値上げ抑制、多子世帯の給食費無償化、子どもの医療費助成における高校生通院までの拡充を新年度予算案に計上している。
委 員	議題外について、若年層の減少については時代の趨勢としての面があり、国の傾向と同等とのことだったが、死亡数の増加についてはどうか。
事務局	所謂、団塊の世代と呼ばれる方々の高齢化によるものと分析しており、こちらも国の傾向と同様である。
委 員	議題 3、基本目標 1 の地元就職率については、こちらの感覚よりも多いとの印象。就職率向上のため、どのような取組を行っているか。
事務局	近年、IT 企業の誘致にも力をいれており、進出企業が高校生に対して IT に関する授業を行う取り組みを実施している。
委 員	議題 3 の基本目標 3 について、ファミリーサポートセンターの利用減については需要減によるものとの分析だが、マッチングが上手く行かないとの事案をよく耳にする。サポーターの供給が減っていることも理由としてあるのでは。 また、若年人口の減について、龍谷短期大学の閉学による影響はどのように考えているか。
事務局	ファミリーサポートセンターの利用減について、委員ご指摘の面もあると思うが、療育施設への送迎を目的とした利用が、5 年前の 10 分の 1 くらいに減っている。療育施設の送迎バスが普及したことや、各校への通級教育整備が進んだことに起因すると考えており、保育施設の充実という面も大きいと分析している。龍谷短期大学の閉学について、各学年 70 人程度の学生を擁しているものの、元から卒業後は地元に戻って就職するケースが多いと聞いている。影響は大きくないとみているが、注視していく必要があるとの認識。
委 員	ファミリーサポートセンターの利用については、夜間預かりなどでマッチングが上手くいかなかった事案があった。担い手を増やすためにも、サポーター養成講座を増やすなど対策が考えられる。
委 員	議題外について、外国人のビザの分析だが、「技術・人文知識・国際業務」と「人文知識・国際業務」の違いは。 また、外国人は貴重な人材であるが、市内でも文化の違いから生活トラブルになるなど、影響が大きくなってきている。市でもそろそろ外国人へ向き合う施策、外国人に選ばれる施策を検討する段階にあると思われる。
事務局	以前、「技術」と「人文知識・国際業務」として別々だったビザが統合されたもの。以前のビザを所有している方が 1 %となっている。
委 員	婚活支援事業については、市が自ら行っているのか。 会議所としても同様の事業に取り組んでおり、規模を大きくすると得られる効果も高くなる。今後、一緒にやれたらと思うので、また提案させていただきたい。
事務局	民間事業者が行う婚活イベントについて、市が周知広報を行い支援するもの。年に 4 回程行っている。
委 員	議題 3 に関連して、雇用については、良質な雇用を増やすという視点の数値指標が必要かと思う。次期戦略では検討をお願いしたい。
委 員	議題 3 に関連して、高校生の地元就職率については、伊万里市でリクルートコン

ベンション事業として、高校の先生に対して地元の良い中小企業を知ってもらう取り組みを行っている。実績も出てきているため、今後、鳥栖市でも検討してほしい。

委 員 現戦略は中年や壮年の男性が作った計画のように見えるため、来期の戦略策定にあたっては、様々な年代や男性以外の視点を入れてほしい。

会 長 議題外について、0-4 歳社会減について掴んだことが、今後の施策のキーとなると考える。社会減の要因は住宅価格の差にあるとの分析だったが、ソフト面の事情も介在していると思う。次回、もっと分析を深めていただきたい。

3 その他

(事務局) 今年の夏頃に令和7年度第1回の会議を予定している。